レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成26年4月4日	使用開始日			
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西	化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	パージェタ【初回】+トラスツズマブ【2回目以降】+カペシタビン				
疾患名	乳がん(HER2陽性進行再発乳がん)	適応の備考	パージェタが初回で、トラスツズマブ継続投与の患者に用いる		
適応分類	進行・再発				
1コース日数	21　日間	総コース数	有効な限り　コース	催吐性リスク	軽度
抗がん剤投与量・投与日	パージェタ注840mg/body, トラスツズマブ注6mg/Kg day1、カペシタビン錠day1-14				

治療スケジュール ・ 投与日程(投与日は●)　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																				
	点滴静注			/																						
				/																						
	プライミング用																									
2	主ルート	生食250mL	1	本 / body		●																				
	点滴静注	パージェタ注	840	mg / body	60 分	●																				
				/																						
	投与時間(初回投与)60分、(2回目以降)30分可																									
3	主ルート	生食250mL	1	本 / body		●																				
	点滴静注	トラスツズマブ	6	mg / kg	30 分	●																				
		注射用水100mL		/		●																				
	投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
4	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																				
	点滴静注			/																						
				/																						
		カペシタビン	下記	錠 / body	朝夕 食後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
	経口			/																						
				/																						
	1日2回朝夕食後																									
	投与量は下記参照																									

【投与上の注意】
トラスツズマブ:初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。
パージェタ:初回投与時間は60分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。

パージェタトラスツズマブ併用:次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満の時はパージェタ420mg/bodyトラスツズマブ6mg/kgを投与する。
6週間以上の時は改めてパージェタ840mg/body,トラスツズマブ8mg/kgで投与。

カペシタビンの投与法はB法で行い、投与量は体表面積により決まる。

体表面積	1.33㎡未満	1回	1500mg/body(1日3000mg)
	1.33㎡～1.57㎡未満	1回	1800mg/body(1日3600mg)
	1.57㎡～1.81㎡未満	1回	2100mg/body(1日4200mg)
	1.81㎡以上	1回	2400mg/body(1日4800mg)　朝夕食後に服用